

高校公民プリント（過去問類似）
源流思想と宗教 No.5

名前

得点

/9

問1 古代中国において、人間が作り出した有用・無用といった価値判断や社会規範を人為的な偏見として否定した思想家は誰か。彼は、万物は宇宙の根本原理の現れとして等価であるとする「万物斉同」を説き、一切の対立や差別を超越して天地自然と一体となった「真人」を理想の人間像とした。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 孟子 2. 荘子 3. 荀子 4. 墨子

問2 仁義の徳に基づく王道政治を理想とし、君主がその徳を失って民を虐げる場合には、天命が改まって別の有徳な者が新たな王朝を開くという政治思想を唱え、武力による支配である霸道を批判した、戦国時代の儒家の思想家は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 墨子 2. 孟子 3. 荀子 4. 荘子

問3 ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の三つの律法は、それぞれの信者にとって真実であり、互いに他の律法を否定することはできないという、宗教的寛容を示す「三つの指輪の比喻」が語られる、近代散文学の先駆となったボッカチオの代表作である物語集は何か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. マクベス 2. ハムレット 3. デカメロン 4. ユートピア

問4 古代ギリシアの民主政期において、弁論術を教える職業教師として活躍し、絶対的な真理を否定して個人の主観を重視する立場をとり、のちにソクラテスやプラトンから厳しく批判された知識人たちを何と呼ぶか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. エピクロス 2. ピタゴラス 3. ソフィスト 4. ソクラテス

問5 古代インドのバラモン教において社会的な身分秩序を固定化していた4つの基本階級の区分であり、仏教の創始者によってその絶対性が否定され、生まれではなく行為の清らかさによって人間の価値が決まると批判された制度を何というか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. アシュラマ 2. ヴアルナ 3. ジャーティ 4. カースト

問6 イスラーム教において、唯一神アッラーが預言者ムハンマドを通じて下したとされる、最も重要視される聖典（啓典）は何と呼ばれるか。この書物は、信仰のあり方だけでなく、ムスリムの日常生活や社会秩序を律する法（シャリーア）の根源としても機能している。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. タルムード 2. クルアーン 3. トリピタカ 4. アヴェスター

問7 言葉は真理（道）を捉えるための道具にすぎず、真理を得たならば言葉は忘れるべきであると説きながらも、寓話や比喻といった独特の言語表現を駆使して、固定観念から解放された自由な生き方を提示した、中国戦国時代の道家の思想家は誰か。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. 荘子 2. 老子 3. 列子 4. 楊朱

問8 人間の生は一時的な仮の宿のようなものであり、虚無から生じて再び虚無へと戻る変化にすぎないため、生の長短や死の恐怖といった相対的な価値に囚われるべきではないと説き、万物斉同の立場から自然の循環に身を任せる死生観を提示した、中国の戦国時代の思想家は誰か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 荘子 2. 墨子 3. 孟子 4. 老子

問9 ポリス社会が崩壊し、個人が孤立していくヘレニズム時代において、身体に苦痛がなく魂に動揺がない状態を真の快樂とし、公共の政治活動から離れて「隠れて生きよ」と説いた思想家は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. ピュロン 2. エピクロス 3. プロティノス 4. エピクテトス

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 莊子	人間による人為的な価値判断（分別）を否定し、万物を等価とみなす「万物斉同」を説いたのは莊子である。彼は、社会規範から自由になり、天地自然と一体化した「真人」を理想の人間像とした。老子とともに道家（老莊思想）を代表する人物である。
問2	答え 2 孟子	性善説を唱えたこの思想家は、支配者が仁義の徳によって民を治める「王道政治」を主張した。そして、支配者がこの徳を失った場合には、天命が改まって王朝交代が起こるといった易姓革命の思想を唱え、武力による支配である「霸道」を厳しく批判した。
問3	答え 3 デカメロン	イタリア・ルネサンス期の作家ボッカチオが著した『デカメロン』（十日物語）の第一日第三話には、三つの指輪の比喻が登場する。これは、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の三つの律法は、それぞれの信者にとって真実であり、互いに他を否定できないという宗教的寛容の精神を表現したものである。この比喻は、のちにドイツの啓蒙思想家レッシングの戯曲『賢者ナータン』にも取り入れられた。
問4	答え 3 ソフィスト	アテネの民主政の発展に伴い、民会や法廷で他者を説得するための弁論術の需要が高まった。これに応じて、謝礼を受け取って弁論術や弁論に必要な知識を教える職業教師たちが現れた。彼らは普遍的な真理を否定し、個人の主観や立場によって真理は異なると主張したため、のちにソクラテスらから厳しく批判された。
問5	答え 2 ヴァルナ	バラモン教では、司祭（バラモン）、武士（クシャトリヤ）、庶民（ヴァイシャ）、隷属民（シュードラ）という4つの身分が厳格に定められていた。仏教の開祖は、この生まれによる身分制度を否定し、すべての人間は平等であり、自らの行為によってのみ清らかになると説いた。
問6	答え 2 クルアーン	イスラーム教の信仰筒条である「六信」の一つに「啓典への信仰」がある。その中で最も重要とされるのが、神が預言者ムハンマドに授けた啓示をアラビア語で記録した書物である。これは単なる信仰の書にとどまらず、ムスリムの社会生活や法秩序を規定する最高権威の法源としても位置づけられている。
問7	答え 1 莊子	莊子は、言葉が事物を区別し固定化することで、万物の一体性である「道（タオ）」という究極の真理を損なってしまうという言葉の限界を強く意識していた。しかし、言葉を完全に放棄するのではなく、寓話（ぐうわ）や重言（じゅうげん）といった文学的・逆説的な表現を用いることで、人々の固定的な言語認識を揺さぶり、無為自然の境地へと導こうとした。
問8	答え 1 莊子	生と死を自然の大きな循環（気の変化）の一部として捉え、生を「仮の宿」に、死を「虚無への帰還」とみなして、生への執着や死への恐怖といった相対的な価値判断を超越することを説いた。万物斉同の立場から、作為を排して自然のありのままに従う無為自然を重んじた道家の代表的な思想家である。
問9	答え 2 エピクロス	ポリスの市民共同体が衰退したヘレニズム時代には、国家の枠組みを超えて個人の心の平穏を求める哲学が流行した。その代表的存在である彼は、政治的な名誉や肉体的な享楽を避け、友人たちと「庭園」に集い、静かに生きることを理想とした。